

# 妖女館



# 日常

②



浦瀬しおじ





ああ..  
とっても素敵..

はあ

はあ



精気が  
あふれてくる♡

はあ

はあ



大月さん..

はあ

はあ

これから  
ずっと..

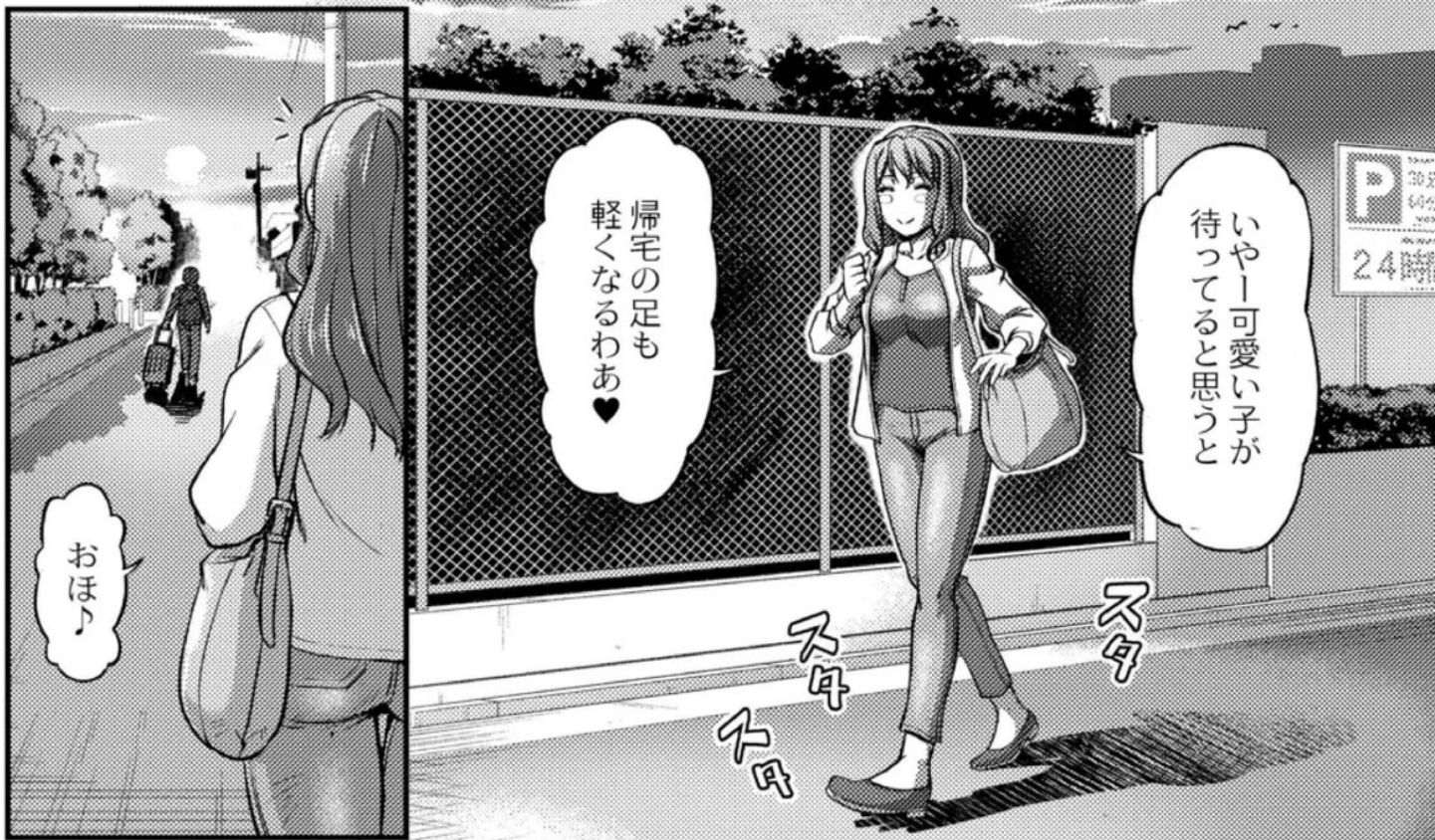


# 妖女館の 日常

第二話

presented by 浦瀬しおじ







街から  
出られない？

しっかり確認して  
バスに乗ったのに変な  
場所に行っちゃうし

何とか戻ってきて  
今度は駅まで歩きで  
行ったら車両故障で  
電車が動かないし

タクシーを全部  
乗車拒否されて



歩いて隣の駅まで  
行こうとしても  
ナビアプリはこの近所に  
誘導するし…

ずーっとそんな  
繰り返して…



あ…契約書  
書いたでしょ？

……はい  
取り敢えず  
1年契約で

もちろん通学や  
旅行はできるけど

じゃあ1年間は  
あの館からは逃げ  
られないわね

あのヒトの…  
モリイさんの契約書は  
絶対なの

逃げようと思った  
途端に強制力が働いて  
連れ戻されるわ



騙してやろうとか  
取って食おうとか…  
そんな悪意は無いの

でも困ってたみたいだし  
エッチなことはあっても  
若いコなら逆にウエルカム  
かなと思って…



そんな…  
あなた達って一体  
何なんですか!?

僕はどうなる  
んですか?



でもわかった…  
元はと言えば  
私が紹介したから  
だもんね

キミは  
私が守るわ

守る?



あらためて  
自己紹介を…

私は大神亮子  
おおかみりょうこ  
ハーフウルフマン  
半人狼よ

4分の3は  
キミと同じ人間なの





あなたがユキノンね？  
初めまして♥  
サキバス あけみなな  
淫魔の明見菜々よ♪

昨夜は会えなくて  
残念だったわ♥

ユ…  
ユキノン？



養生館でならサービス  
しちゃうわよ♥



私 駅向こうの  
ハニーローズって  
お店で働いてるの

あなたはまだ入店  
できないだろうけど…

ふわっ!!



いきなり  
精気を吸わないで  
ください!



ヒヤッ!!



あら 明見さん  
お食事もうすぐ  
できますよ

失礼しちゃう  
わよねえ



あらら

大丈夫だからね  
私を守るから♡



猫に魚の番をさせる  
のと同じですね♪

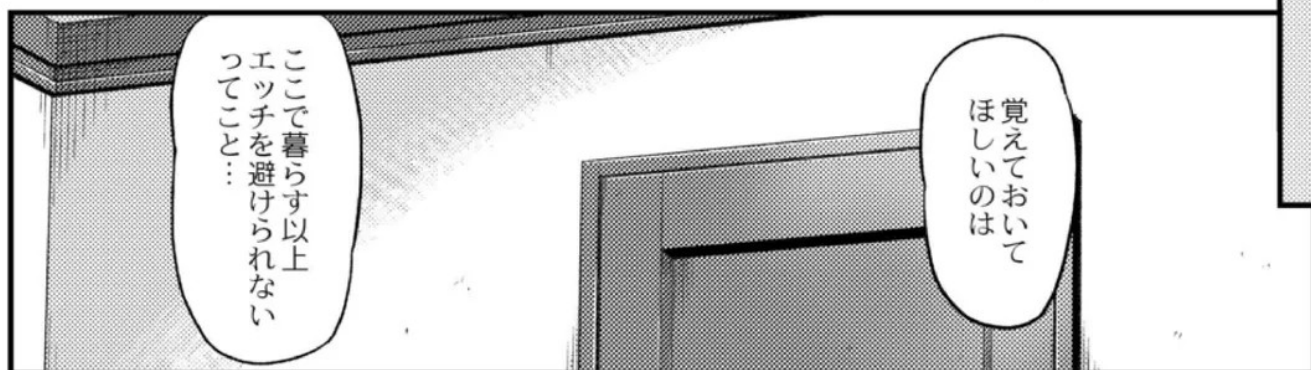
まあ  
なんと言いますか

そうよねー♪



大家さんどう思う？

何アレ？  
私を守る…とか  
言っちゃってさ



覚えておいて  
ほしいのは

ここで暮らす以上  
エッチを避けられない  
ってこと…

幸之クンの精液は  
わた：彼女達にとつて  
ご馳走なの

キミも住人の  
一人になったから

無茶なことには  
ならないように大家さんが  
調整すると思うけど



大事なのはキミが  
明見さん：と一応  
ライラちゃんもかな？

：に流されて  
ボロボロになるまで  
抜かれないことね

あの：

何で僕の部屋に  
いるんですか？

正直言つて僕は  
大神さんのことも  
心配なんです

食事も済んだし  
明見さんもうじき  
出勤だから：

それまではガード  
しようかなって！







はいっつ!?

何か生えた!?

スっゴイいい匂い  
するよねえ♡



ダメだ  
このヒト!!

大丈夫!  
今夜はやさしく  
するから♡

思うんだけど  
一番の対策って

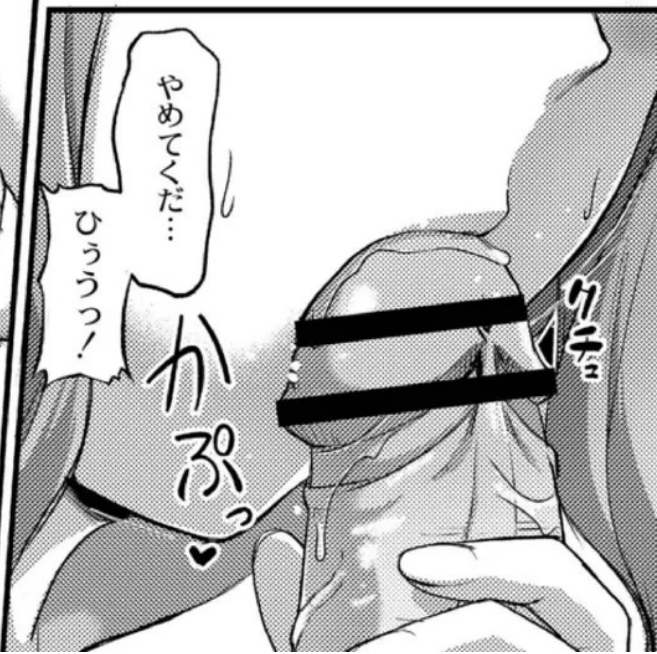
エッチに慣れておく  
事だと思うのよね♡

びるん

グイ

ガバ







幸之クン…ッ  
大丈夫…??♡

痛いところ…っ  
ぷふっ…無い?

ジュー

ジュー

ビクン

ふあっ!!

はっ!



舌がぬるぬる  
絡んできて…

アール

アール

あ…大神さ…っ

ちよつと  
待つ…!

こんなの…もう  
我慢できない…っ!

口の中…熱くて  
吸い付いてきて…

はあ

はあ

ぞく

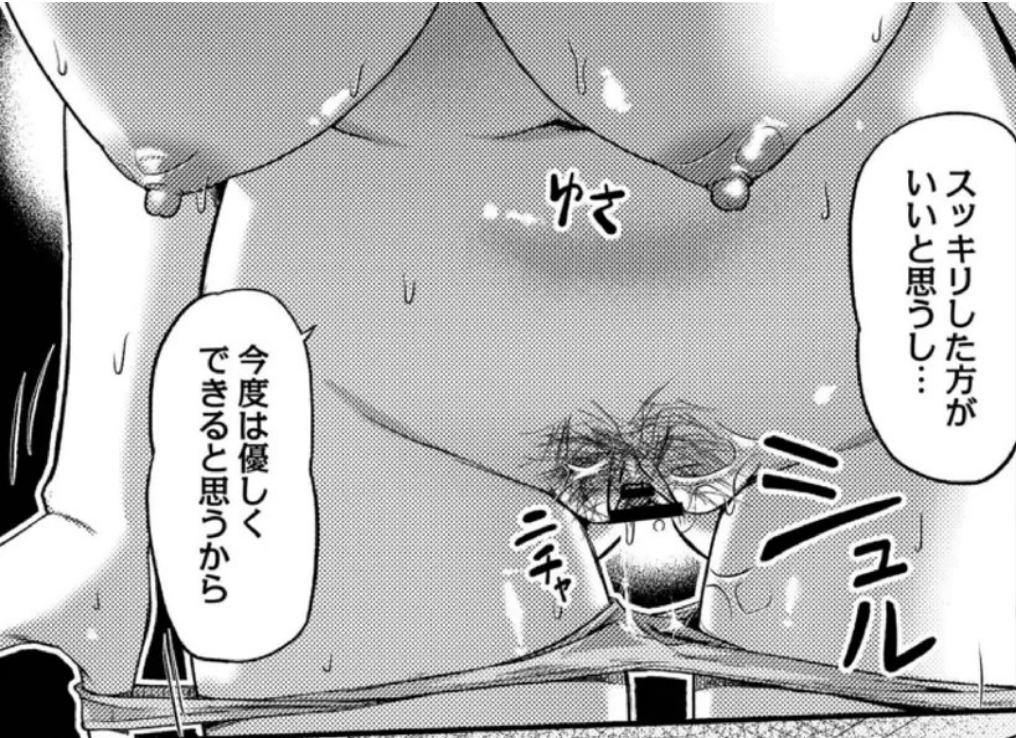
ぞく

おっ

ビク

ジュー





スッキリした方が  
いいと思うし…

今度は優しく  
できると思うから

ゆさ

ニユル

ニチャ



あの…さ

これこのまま  
だと…辛いよね♥

つん  
つん  
どろ  
どろ



挿れても  
いいかな？

いいよね♥

幸之クンも数を  
こなした方が良く  
と思うし…

はあ

ドキ

ドキ

だから

はあ

挿れちゃお♥

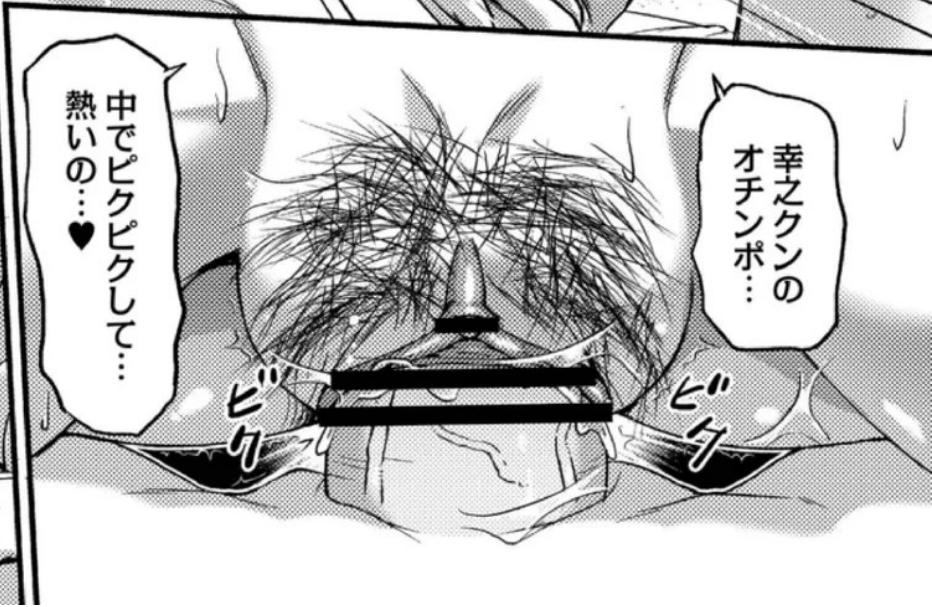
パハ

パハ♥

グハ

ワケツ

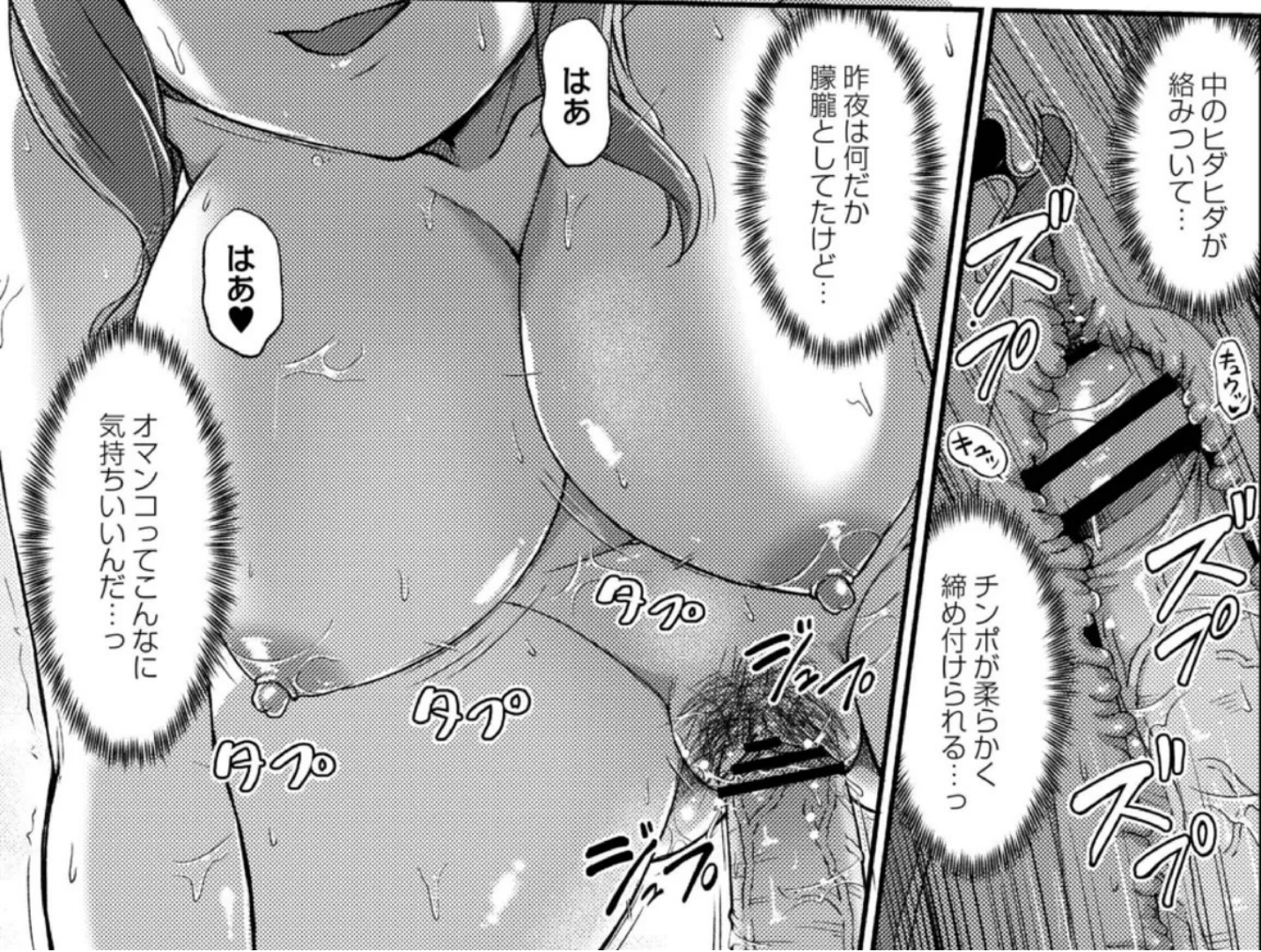




幸之クンの  
オチンポ…

中でピクピクして…  
熱いの…♥

じゃあ動くね…♥

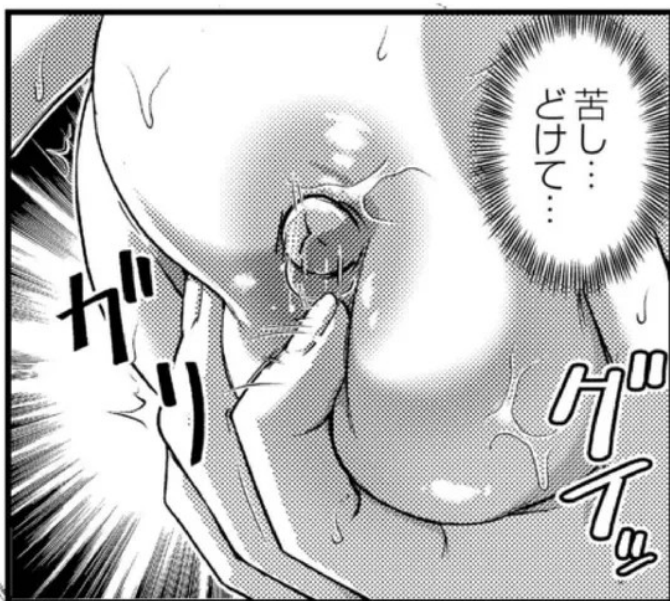




さっきキミの乳首  
いじめちゃったから

私のおっぱい好きに  
していいよ♥

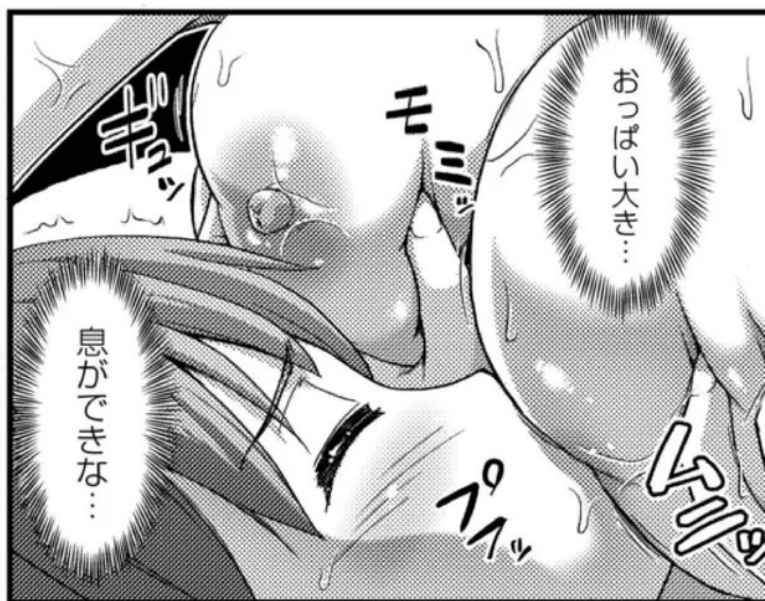
むぐっ



苦し…  
どけて…

ガリ

グイ



おっぱい大き…

息がでな…

モミ

プッ



あつそれ!!

乳首イジルの  
いいっ♥

ごめんねっ  
私っ…

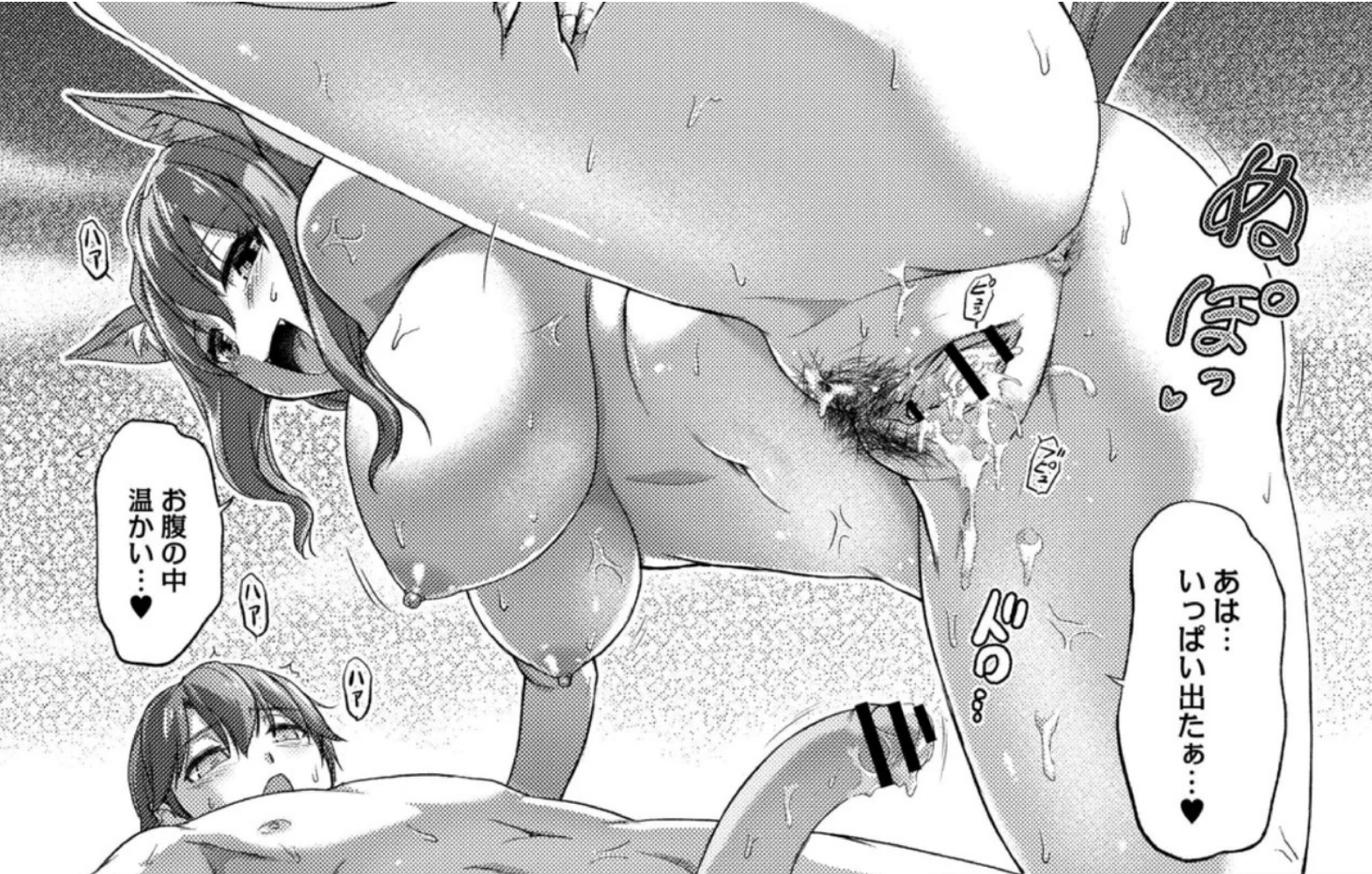
腰がもう  
止まんないっ♥

ズン

ズン

ズン





ぬぽっ

あは…  
いっぱい出たあ…♡

お腹の中  
温かい…♡

ハア

ハア

じゃあ疲れにくい  
方法を二人で  
研究しよう

私は他のヒトと  
違って生命力とか  
吸わないから…  
安心して出してね♡

いや…  
疲れるのは同じ  
なんだけど…



ねえ幸之くん

私のこと  
お姉ちゃんと呼んで  
くれていいよ♡

呼びません

この人は4分の3の  
人間部分が  
ダメなんじゃ…？

# **G-WALK**

ムーグコミックス

## 妖女館の日常 第二話

著者●浦瀬しおじ

© 2021 URASE SHIOJI / G-WALK

発行●株式会社ジーウォーク

<http://gwalk.sakura.ne.jp/>

●本書の一部あるいは全部を無断で複製・転載・上演・放送・ネット配信等を行うことは、法律で認められた場合を除き、著作者及び出版者の権利の侵害となります。

●掲載作品はフィクションであり実在の人物、団体、事件などには一切関係ありません。また犯罪を教唆するものではありません。

●本書は大人向けの娯楽書であり、18歳未満の方の購入・閲覧・所持を禁じます。また、18歳未満の方への販売・陳列・貸与・譲渡・回覧を禁じます。